

学びの広場

人権週間に寄せて

1948年12月10日に開かれた国際連合第3回総会で「世界人権宣言」が採択されました。この日を記念して12月10日を「世界人権デー」としました。その後、日本では、毎年12月4日から一週間を「人権週間」と定め、国民に人権の大切さを伝える活動などを行っています。この週間にちなんで人権について考えてみませんか。

命 宮越 由貴奈

命はとても大切だ
人間が生きていくための電池みたいだ
でも電池はいつか切れる
命もいつかはなくなる
電池はすぐに取りかえられるけど
命はそう簡単にはとりかえられない
何年も何年も
月日がたつてやっつと
神様から与えられるものだ
命がないと人間は生きられない
でも
「命なんかいらない。」
と言って
命をむだにする人もいる
まだたくさん命がつかえるのに
そんな人を見ると悲しくなる
命は休むことなく働いているのに
だから 私は命が疲れたと言うまで
せいっぱい生きよう

すずらんの会編

「電池が切れるまで一子ども病院からのメッセージ」(角川文庫)より

※作者は、5歳のとき、神経芽細胞腫(しんけいがさいぼうしゅ)と診断されました。この作品は小学校4年生の時、院内学級で電池の勉強をしたときに書かれたもので、その4ヵ月後に11歳の若さで亡くなりました。

人権教育研修会

人権週間に合わせて次の研修会を開催します。

悲しみを希望にかえて
ハンナのかばんから学ぶこと

日時 12月10日(土)
13時30分～15時15分
会場 松田町民文化センター
一階 展示ホール
講師 NPO法人
ホロコースト教育資料センター

石岡 史子 代表

第二次世界大戦時のヨーロッパで起きたナチス・ドイツによるユダヤ人虐殺。ハンナはその一人でした。13歳の短い命でした。70年の時と国境を越えて、茶色のかばんが石岡代表の所へ届きました。そのかばんの秘密とは…。



ハンナ・ブレイディ

命のメッセージ

東日本大震災では、温かい支援が多数寄せられている半面、一部に心無い言動もみられます。また、全国各地では、命を軽視した事件も引き続き起こっています。

由貴奈さんやハンナの命は、今もなお、私たちに多くを語りかけています。

講師の石岡代表は、人を思いやる寛容な心を育んでほしいと願い、全国で講演活動を展開しています。現在にも通じる命のメッセージを聴いてみませんか。

町民スポーツ大会の結果

第13回町民ソフトテニス大会

日時 10月23日(日)
場所 寄テニスコート
主催 松田町体育協会
参加 8チーム 48名
結果
優勝 中丸・松田クラブ
準優勝 松中男子A
第三位 松中男子C
敢闘賞 神山マリオ

第5回町民パークゴルフ大会

日時 11月6日(日)
場所 川音川親水公園
パークゴルフ場(パーク)
主催 松田町体育協会
参加 21チーム 94名
結果
団体戦
優勝 河内自治会
準優勝 仲町屋自治会
第三位 中里かなん沢自治会
個人戦 (自治会・スコア)
優勝 吉田秋男(沢尻・48)
準優勝 川原征義(河内・48)
第三位 山本一雄(河内・51)

試合の状況

松田中学校男子ソフトテニス部なども参加し、様々な世代が日頃の練習の成果を見せていました。大会の間には、体育協会ソフトテニス部による体験スクールが開催され、ゴルフ場でチャレンジしてみたい初心者などにも好評でした。(写真は6頁に掲載)

上郡小学校 連合体育大会

10月20日(木)に足柄上郡の小学6年生全員が参加する体育大会で、松田小学校から部門別の優勝者が出ました。



氏名 鈴木柚葉さん
種目 女子走り幅跳び
記録 3m69cm

団塊さん、いらっしやい①6 松田墨絵会

昭和58年4月、水墨画を趣味とした有志が集まり、墨絵を通じて、自然を愛する心を養い、会員相互の親睦を図り、地域社会の文化の発展に寄与することを目的として会を結成しました。文化センター設立と共に発足したと聞いております。

以来28年の長きにわたり活動を続けて来ました。現在、60代以上の会員11名が、公民館で毎月第1・第3火曜日の午前中、練習しております。指導者は、遠藤玉枝先生で、本町だけでなく、近隣市町でも指導されています。

また、各自独習した作品についても懇切丁寧な指導を受けています。先生は、どんな作品でも指導してくださるので、好きなものを自由に描きます。作品は町の文化祭に出品しています。

さらに、年に一度、親睦を深める研修旅行を実施し、美術館・墨絵展示会めぐりなども随時実施し楽しんでおります。絵の好きな方、頭の体操と一緒に楽しんでみませんか。



風景画は薄墨から始めなさい…